

(様式 1)

## 令和 2 年度 学力向上を図るための全体計画

学校名	墨田区立第二寺島小学校
校長名	中村 奈緒美

### 1 本校の学力に関する状況

#### (1) 墨田区学習状況調査結果から (平均正答率は、別表参照)

成 果	課 題
<ul style="list-style-type: none"><li>・国語と算数の関心・意欲・態度が全学年全国平均を上回った。また経年比較で見ても昨年度と比べ、標準スコアが全学年で上昇した。</li><li>・算数は全学年、4 観点すべてにおいて全国平均を上回った。</li><li>・5 年生の算数への関心・意欲・態度と 6 年生の数量や図形についての技能が目標値を下回ったが、それ以外はすべてにおいて目標値を上回った。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・6 年生の社会が 4 観点すべて全国平均を下回った。</li><li>・4・5・6 年生の国語で話す・聞く能力が全国平均を下回った。</li><li>・5・6 年生の理科が 4 観点すべて全国平均を下回った。</li><li>・無回答率が全学年で国語約 22%、社会約 33%、算数約 23%、理科約 19%であった。</li></ul>

#### (2) 意識調査結果から

成 果	課 題
<ul style="list-style-type: none"><li>・3・4・5 年生は【自己認識】【社会性】【学級環境】【生活・学習習慣】すべて全国値を上回った。</li><li>・2 年生は【社会性】がすべて全国値を上回った。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・6 年生は【学級環境】学級の規範意識以外、すべての項目で全国値を下回った。</li><li>・4 年生で家庭学習の習慣がない児童の割合が約 3 割にのぼった。</li></ul>

#### (3) 墨田区学習状況調査や意識調査以外から明らかになっている学習に関する状況

成 果	課 題
<ul style="list-style-type: none"><li>・火曜日から金曜日までの朝学習が児童の中で習慣化してきた。</li><li>・放課後補習教室を全校で取り組み、軌道に乗ってきている。児童が主体的に補習に参加するなど、学ぼうとする意欲がみられるようになってきた。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・放課後補習教室「二寺子屋」の目的は基礎基本の確実な定着であるが、発展的な学習にも対応できるように児童の選定を多様化していく。</li><li>・共通したノートの書き方や色チョークの使い方、問題文のキーワードに線を引くなど、授業内での取り組みが徹底できていない。</li></ul>

### 2 本年度の学力向上に関する主な取組

#### (1) 授業内での取組

##### 問題解決型授業による思考力・判断力・表現力の育成

「つかむ」「見通す」「自力解決」「学びあう」「振り返る」といった学習過程を基本とし、基礎的・基本的な知識・技能を活用し、自分なりの解決方法を考え、それを表現する力を育成していけるようにする。

##### 全学年共通の学習規律の徹底

- ・算数ノートの書き方を全学年で統一する。
- ・めあてを青で囲み、まとめを赤で囲む。
- ・問題を読みながらキーワードに線を引く。

## (2)授業以外での取組

### 朝学習の計画的な取組

毎週火曜日「二寺朝漢字タイム」、木曜日「二寺朝計算タイム」として、全学年、くすのき学級での取り組み、基礎基本の習熟徹底を図っている。実施したプリントをファイルに保管することで自分の学習を振り返ることができるようにしている。また水曜日と金曜日を朝読書タイムとして、読書習慣の定着も図っている。児童の読書への意欲づけのため、読書記録カードを作成し、1・2年生は読んだ冊数、3年生以上は読んだページ数の合計を記録し、年間目標の到達をめざすようにしている。

### 放課後補習教室の実施

- ・毎週火曜日を放課後補習教室「二寺子屋」とし、全学年で実施している。前学年の理解が不十分な児童や現在学習している単元でつまづきがみられる児童を対象とし、30分程度の補習を行っている。
- ・放課後二寺教室については2年生から5年生を対象とし、週1回、60分程度、基礎基本の定着及び発展的な学習にもチャレンジし、学習への意欲を高めていく。

### 家庭学習の習慣づけ

家庭学習を毎日10分×学年+10分行うように指導し、全学年、毎日取り組むことで家庭での学習の習慣を身に付けさせている。丸付けは家庭に協力を依頼し、誤答をすぐに修正してもらうようにする。また週末の家庭学習として200字作文(低学年は100字作文)に取り組み、書くことへの慣れや抵抗をなくすことをねらいとしている。

## (3)計画的な振り返りの実施

振り返りシートを定期的に活用したり、学習状況調査の過去問を計画的に取り組んだりする。過去問については12月に現学年の学習状況調査の復習を行い、2月に次学年の過去問を行って児童一人一人の課題を洗い出し、授業内や放課後補習、家庭学習等で課題の克服を図っていく。

## 3 「令和3年度 墨田区学習状況調査」における目標

- ・目標値と全国平均を全学年で上回るようにする。
- ・2・3年生は国語と算数で正答率90%以上、4・5・6年生は国語と算数で正答率75%以上、理科と社会で正答率70%以上をめざす。
- ・無回答率を4教科とも10%未満に引き下げる。
- ・家庭学習を「まったくしない」児童の割合を全学年10%未満にする。